

◆関東羈旅 (カントウキリョ) No36
音楽寺とハーブ橋(埼玉県秩父市)

秩父札所めぐり

秩父には34カ所の観音霊場が点在し、札所めぐりができると聞き、休日に訪ね、秩父札所を散策する事にしました。

西部秩父線「西武秩父駅」で下車すると、目の前には甲武山がそびえ立っています。駅前の「秩父観光情報館」で観光マップを入手して「慈眼寺」「今宮神社」と「少林寺」「秩父神社」「西光寺」を巡るコースを選んで歩くことにしました。

駅前アーケード商店街と直結して「西武秩父仲見世通り」と呼ばれ、民芸品やお土産、地元特産品が展示販売されています。途中、秩父鉄道「御花畑駅」に寄り道しながら慈眼寺に到着しました。

川柳・秩父にて

- ・武将のよう どんとかまえる 武甲山
- ・慈眼寺に 視力回復 願をかけ
- ・仲見世で お遍路姿 現代風

秩父神社

眼病と厄除けにご利益があると伝わる慈眼寺と今村神社でお参りをしました。今村神社には、武甲山の伏流水「清龍の滝」があるほか、神がかり的な雰囲気満ちている境内に立つ龍神木の幹回りは9メートルもあり、樹齢が千年を超えるといいます。少林寺へもお参りして秩父神社に辿り着きました。

秩父神社は秩父鉄道「秩父駅」から徒歩で5分ほどの所にあり、約2100年前に創建されたという秩父地方の総鎮守です。お参りを済ませて境内を散策すると珍しい「乳銀杏」がありました。説明書によると「1933(昭和8)年に秩父宮勢津子妃殿下が苗木をお手植えされたもので、ふくよかな乳房のような形に育ったことから、乳銀杏として親しまれている」とありました。珍しい乳銀杏の写真を撮って5カ所目になる「西光寺」で一息ついた後、昔ながらの巡礼路をたどり、秩父を流れる「荒川」を越えたところにある「音楽寺」という珍しい名前のお寺を目指しました。

- ・そよ風に 音を奏でる ハーブ橋
- ・土中から 湧き出るような 龍神木
- ・ふくよかな 秩父神社の 乳銀杏
- ・歴史ある 秩父神社が 総鎮守

ハーブ橋から音楽寺へ

秩父市街地から荒川を越えて音楽寺に向かうために荒川に架かる長さ500メートルの美しい橋「秩父ハーブ橋」を渡りました。ハーブ橋は愛称で、橋の姿は、山並みを渡るそよ風が豎琴の調べを聴かせるような雰囲気で、名前の通りハーブ演奏を連想してしまいました。

橋を渡りきると音楽寺までは急な登りの山道が続き、40分ほどかかりました。長い年月をお遍路さんが踏み固めてきた道を歩き、巡礼の雰囲気を感じることができました。

名前に由来するのか、付近ではスピーカーから音楽も流れています。音楽寺でお参り後、日帰り温泉で疲れた心身を休めようと思い一目散に横瀬に向かいました。

「秩父湯本・武甲温泉」には、神経痛、筋肉痛、関節痛、疲労回復、健康増進などの効用書きがあります。夕暮れ時に到着し、豊かな自然に囲まれた露天風呂にゆっくりつかり、長い一日の散策に満足感を覚えました。

- ・メロディのリズムで登る 音楽寺
- ・巡礼の重みがわかる 急な坂
- ・一日の疲れを癒す 露天風呂

「海員だより」